

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-189651

(43)Date of publication of application : 05.07.2002

(51)Int.Cl.

G06F 13/00

(21)Application number : 2000-385882

(71)Applicant : KITAMURA KOZO

(22)Date of filing : 19.12.2000

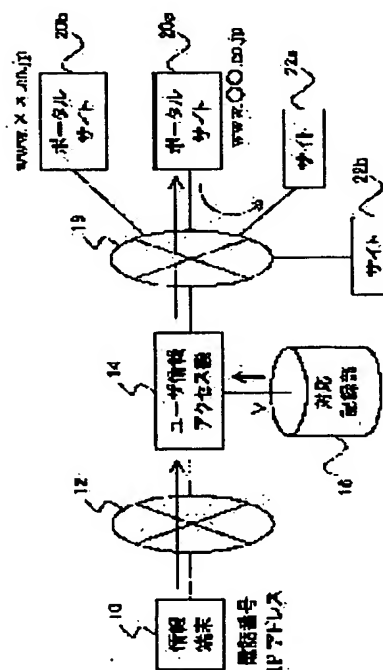
(72)Inventor : KITAMURA KOZO

## (54) ACCESS DEVICE, METHOD AND RECORDING MEDIUM TO INFORMATION CORRESPONDING TO USER

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an access device to information corresponding to a user facilitating access to various sites such as a portal site adapted to preference of the user.

SOLUTION: A user information accessing machine 14 receives terminal identifying information (a telephone number) sent from an information terminal 10 (a mobile phone) and has the information terminal 10 access to portal sites 20a and 20b corresponding to the terminal identifying information (the telephone number) on the basis of recorded contents of a correspondence recording part 16. Consequently, the user does not need user ID or the like for accessing as long as the user has the telephone number of the information terminal 10. Accordingly, access to the portal sites 20a and 20b is facilitated. Information corresponding to the telephone number of the information terminal 10, namely, information corresponding to the user of the information terminal 10 is recorded in the portal sites 20a and 20b (normally, there is only one user to one mobile phone). Consequently, the user of the information terminal 10 can access to the sites 22a and 22b or the like suiting one's preference.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 16.01.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 25.01.2005

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-189651

(P2002-189651A)

(43) 公開日 平成14年7月5日 (2002.7.5)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>

G 0 6 F 13/00

識別記号

5 1 0

F I

G 0 6 F 13/00

テ-マ-ト\* (参考)

5 1 0 C

審査請求 有 請求項の数 11 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願2000-385882 (P2000-385882)

(22) 出願日 平成12年12月19日 (2000. 12. 19)

(71) 出願人 599022694

北村 幸三

三重県伊勢市東大淀町273-1

(72) 発明者 北村 幸三

三重県伊勢市東大淀町273-1

(74) 代理人 100097490

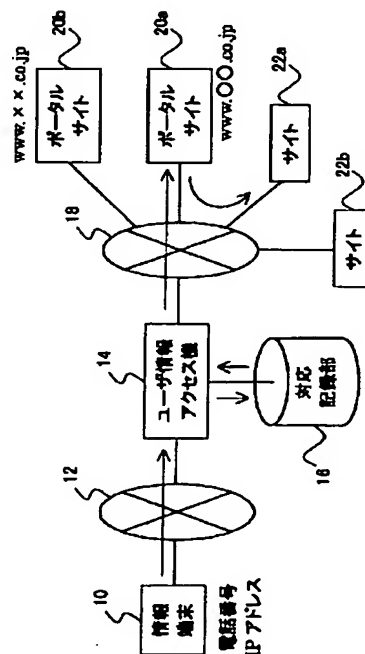
弁理士 細田 益稔 (外1名)

(54) 【発明の名称】 使用者に応じた情報へのアクセス装置、方法、記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 ユーザの好みに適応したポータルサイトなどの各種サイトへのアクセスを容易にする、使用者に応じた情報へのアクセス装置を提供する。

【解決手段】 ユーザ情報アクセス機14が、情報端末10（携帯電話）から送信された端末識別情報（電話番号）を受信して、対応記録部16の記録内容に基づき、端末識別情報（電話番号）に対応したポータルサイト20a、bへ情報端末10をアクセスさせる。よって、情報端末10の電話番号があれば、ユーザのユーザID等をアクセスに必要としない。したがって、ポータルサイト20a、bへのアクセスが容易となる。しかも、ポータルサイト20a、bには、情報端末10の電話番号に応じた、すなわち情報端末10のユーザに応じた情報が記録されている（携帯電話一台につき1ユーザが通常）。よって、情報端末10のユーザは、自らの好みにあったサイト22a、bなどにアクセスできる。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】固有の端末識別情報を有し、前記端末識別情報を送信する情報端末と、  
前記情報端末の使用者に応じた情報が記録された使用者情報記録手段と、  
前記端末識別情報と前記使用者情報記録手段との対応を記録する対応記録手段と、  
前記情報端末から送信された前記端末識別情報を受信して、前記対応記録手段の記録内容に基づき、前記端末識別情報に対応した前記使用者情報記録手段へ前記情報端末をアクセスさせる使用者情報アクセス手段と、  
を備えた使用者に応じた情報へのアクセス装置。

【請求項2】固有の端末識別情報を有し、前記端末識別情報を送信する情報端末を、  
前記情報端末の使用者に応じた情報が記録された使用者情報記録手段に、  
アクセスさせるための、使用者に応じた情報へのアクセス装置であって、  
前記端末識別情報と前記使用者情報記録手段との対応を記録する対応記録手段と、  
前記情報端末から送信された前記端末識別情報を受信して、前記対応記録手段の記録内容に基づき、前記端末識別情報に対応した前記使用者情報記録手段へ前記情報端末をアクセスさせる使用者情報アクセス手段と、  
を備えた使用者に応じた情報へのアクセス装置。

【請求項3】前記使用者情報記録手段には、前記情報端末に応じた情報が記録されている請求項1または2に記載の使用者に応じた情報へのアクセス装置。

【請求項4】前記使用者情報記録手段は、情報を表示する装置へアクセスするためのデータが記録されている、請求項1ないし3のいずれか一項に記載の使用者に応じた情報へのアクセス装置。

【請求項5】前記使用者情報記録手段に前記使用者に対応した情報あるいは前記情報端末に応じた情報を送信する使用者情報送信手段を備えた、請求項1ないし3のいずれか一項に記載の使用者に応じた情報へのアクセス装置。

【請求項6】前記使用者情報アクセス手段へのアクセス方法が公開されている、請求項1ないし5のいずれか一項に記載の使用者に応じた情報へのアクセス装置。

【請求項7】前記使用者情報アクセス手段は、特定の前記情報端末からのアクセスのみを受け付ける、請求項1ないし5のいずれか一項に記載の使用者に応じた情報へのアクセス装置。

【請求項8】前記使用者情報記録手段が一時的に存在する、請求項1ないし7のいずれか一項に記載の使用者に応じた情報へのアクセス装置。

【請求項9】前記情報端末が所定の操作後に、前記使用者情報アクセス手段に前記端末識別情報を送信する請求項1ないし8のいずれか一項に記載の使用者に応じた情

報へのアクセス装置。

【請求項10】固有の端末識別情報を有し、前記端末識別情報を送信する情報端末を、  
前記情報端末の使用者に応じた情報が記録された使用者情報記録手段に、  
アクセスさせるための、使用者に応じた情報へのアクセス方法であって、  
前記端末識別情報と前記使用者情報記録手段との対応を記録する対応記録工程と、

10 前記情報端末から送信された前記端末識別情報を受信して、前記対応記録工程における記録内容に基づき、前記端末識別情報に対応した前記使用者情報記録手段へ前記情報端末をアクセスさせる使用者情報アクセス工程と、  
を備えた使用者に応じた情報へのアクセス方法。

【請求項11】固有の端末識別情報を有し、前記端末識別情報を送信する情報端末を、  
前記情報端末の使用者に応じた情報が記録された使用者情報記録手段に、  
アクセスさせるための、使用者に応じた情報へのアクセス処理をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータによって読み取り可能な記録媒体であって、  
前記端末識別情報と前記使用者情報記録手段との対応を記録する対応記録処理と、  
前記情報端末から送信された前記端末識別情報を受信して、前記対応記録処理における記録内容に基づき、前記端末識別情報に対応した前記使用者情報記録手段へ前記情報端末をアクセスさせる使用者情報アクセス処理と、  
をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータによって読み取り可能な記録媒体。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ポータルサイトへのアクセスの容易化に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、インターネットを介してホームページを閲覧することが広く行われている。ホームページの閲覧にあたっては、http(hyper text transfer protocol)が使用される。httpサーバのURL(universal resource locator)を、Internet Explorer(商品名)などのwebブラウザで指定すれば、httpサーバがホームページをwebブラウザに表示する。URLは、例えば、http://www.jpo-miti.go.jpのような英数字の組み合わせである。URLの指定は、webブラウザの所定の欄にタイプする(うちこむ)ことで可能である。

【0003】しかし、URLのスペルをタイプすること自体は面倒な作業であり、しかもURLのスペルを正確に覚えておくことも面倒である。そこで、ホームページには他のホームページにリンクが張られていることが多い。ホームページの閲覧者は、リンクをマウス等でクリック

することで、他のホームページを閲覧することができる。ここで、あるホームページAに他の多くのホームページB、C、…へのリンクを張っておくとする。すると、ホームページAを表示させさえすれば、他の多くのホームページB、Cなどを、リンクをクリックするだけで閲覧できる。この場合、ホームページB、CなどのURLを覚えておいたり、タイプしたりする必要がなく便利である。このように、他の多くのホームページにリンクが張られているホームページAを表示するhttpサーバをポータルサイトという。

【0004】ポータルサイトのホームページを表示させるためには、パソコン、携帯電話などの情報端末を起動してインターネットに接続し、ポータルサイトにアクセスする。情報端末の起動およびインターネットへの接続に際しては、ユーザはユーザIDおよび必要に応じてパスワードを打ちこむ。ポータルサイトへのアクセスに際しては、ポータルサイトのURLをタイプする。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、ポータルサイトへアクセスするにあたって、(1) ユーザIDの入力、(2) ポータルサイトのURLのタイプ、といった作業を行う必要があり、ポータルサイトへのアクセスが面倒である。

【0006】さらに、ポータルサイト自体が既存のものである場合には、真に自分が閲覧したいホームページにリンクが張られていない場合も生じ得る。

【0007】なお、このようなことは、ポータルサイトの他にも、ユーザの好みに適応することが望ましいサイトにおいて同様の問題が生ずる。すなわち、サイトへのアクセスが困難であり、しかもユーザの好みに適応していない場合があるといった問題である。

【0008】そこで、本発明は、ユーザの好みに適応したポータルサイトなどの各種サイトへのアクセスを容易にする、使用者に応じた情報へのアクセス装置等を提供することを課題とする。

【0009】なお、ここでいう各種サイトとは、例えば、個々のユーザへの情報提供が可能なサイトや、個人向けの情報発信サービス等を可能にするサイトなどをいう。

【0010】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の発明は、固有の端末識別情報を有し、端末識別情報を送信する情報端末と、情報端末の使用者に応じた情報が記録された使用者情報記録手段と、端末識別情報と使用者情報記録手段との対応を記録する対応記録手段と、情報端末から送信された端末識別情報を受信して、対応記録手段の記録内容に基づき、端末識別情報に対応した使用者情報記録手段へ情報端末をアクセスさせる使用者情報アクセス手段と、を備えるように構成される。

【0011】上記のように構成された使用者に応じた情

報へのアクセス装置によれば、使用者情報アクセス手段が、情報端末から送信された端末識別情報を受信して、対応記録手段の記録内容に基づき、端末識別情報に対応した使用者情報記録手段へ情報端末をアクセスさせる。

【0012】よって、情報端末が有する固有の端末識別情報があれば、使用者のユーザIDやパスワードといった使用者固有の情報を、使用者情報記録手段へのアクセスに必要としない。したがって、使用者情報記録手段へのアクセスが容易となる。

10 【0013】しかも、使用者情報記録手段には、情報端末の使用者に応じた情報が記録されている。よって、情報端末の使用者は、自らの好みにあったサイトなどにアクセスできる。自らの好みにあったサイトなどには、ユーザ個人向けの情報が記録してもよく、かかる場合は、有効にユーザ個人向けに情報を発信できる。なお、ここでいう使用者に応じた情報とは、使用者個人に応じた情報の他に、使用者の所属するグループ、使用者の共通の属性に応じた情報をも含む。

20 【0014】請求項2に記載の発明は、固有の端末識別情報を有し、端末識別情報を送信する情報端末を、情報端末の使用者に応じた情報が記録された使用者情報記録手段に、アクセスさせるための、使用者に応じた情報へのアクセス装置であって、端末識別情報と使用者情報記録手段との対応を記録する対応記録手段と、情報端末から送信された端末識別情報を受信して、対応記録手段の記録内容に基づき、端末識別情報に対応した使用者情報記録手段へ情報端末をアクセスさせる使用者情報アクセス手段と、を備えるように構成される。

30 【0015】請求項3に記載の発明は、請求項1または2に記載の発明であって、使用者情報記録手段には、情報端末に応じた情報が記録されている。

【0016】ここでいう、情報端末に応じた情報とは、情報端末自体あるいは情報端末自体に共通の属性に応じた情報を含む。

【0017】請求項4に記載の発明は、請求項1ないし3のいずれか一項に記載の発明であって、使用者情報記録手段は、情報を表示する装置へアクセスするためのデータが記録されている、ように構成される。

40 【0018】なお、ここでいう情報を表示する装置とは、例えばポータルサイトなどをいう。

【0019】請求項5に記載の発明は、請求項1ないし3のいずれか一項に記載の発明であって、使用者情報記録手段に使用者に対応した情報あるいは情報端末に応じた情報を送信する使用者情報送信手段を備えるように構成される。

【0020】使用者に対応した情報とは、例えば使用者の電話料金の通知などである。

【0021】請求項6に記載の発明は、請求項1ないし5のいずれか一項に記載の発明であって、使用者情報アクセス手段へのアクセス方法が公開されている、ように

構成される。

【0022】例えば、使用者情報アクセス手段のURLが公開され、あるいは検索エンジンに登録されているような場合である。

【0023】請求項7に記載の発明は、請求項1ないし5のいずれか一項に記載の発明であって、使用者情報アクセス手段は、特定の情報端末からのアクセスのみを受け付けるように構成される。

【0024】請求項8に記載の発明は、請求項1ないし7のいずれか一項に記載の発明であって、使用者情報記録手段が一時的に存在する、ように構成される。

【0025】使用者情報記録手段をいわば、動的に生成するようなものである。

【0026】請求項9に記載の発明は、請求項1ないし8のいずれか一項に記載の発明であって、情報端末が所定の操作後に、使用者情報アクセス手段に端末識別情報を送信するように構成される。

【0027】請求項10に記載の発明は、固有の端末識別情報を有し、端末識別情報を送信する情報端末を、情報端末の使用者に応じた情報が記録された使用者情報記録手段に、アクセスさせるための、使用者に応じた情報へのアクセス方法であって、端末識別情報と使用者情報記録手段との対応を記録する対応記録工程と、情報端末から送信された端末識別情報を受信して、対応記録工程における記録内容に基づき、端末識別情報に対応した使用者情報記録手段へ情報端末をアクセスさせる使用者情報アクセス工程と、を備えた使用者に応じた情報へのアクセス方法である。

【0028】請求項11に記載の発明は、固有の端末識別情報を有し、端末識別情報を送信する情報端末を、情報端末の使用者に応じた情報が記録された使用者情報記録手段に、アクセスさせるための、使用者に応じた情報へのアクセス処理をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータによって読み取り可能な記録媒体であって、端末識別情報と使用者情報記録手段との対応を記録する対応記録処理と、情報端末から送信された端末識別情報を受信して、対応記録処理における記録内容に基づき、端末識別情報に対応した使用者情報記録手段へ情報端末をアクセスさせる使用者情報アクセス処理と、をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータによって読み取り可能な記録媒体である。

【0029】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。

【0030】第一の実施形態

図1に、本発明の第一の実施の形態にかかる使用者に応じた情報へのアクセス装置の構成を示す。

【0031】第一の実施の形態にかかる使用者に応じた情報へのアクセス装置は、情報端末10、第一通信網1

2、ユーザ情報アクセス機14、対応記録部16、第二通信網18、ポータルサイト20a、b、サイト22a、bを備える。

【0032】情報端末10は、固有の端末識別情報を有し、端末識別情報を第一通信網12を介してユーザ情報アクセス機14に送信する。ユーザが、情報端末10に所定の操作を行った後に、端末識別情報を送信するようにしてもよい。例えば、情報端末10がユーザ情報アクセス機14あるいは図示省略したサイトのホームページにアクセスしているとする。このとき、ユーザ情報アクセス機14あるいは図示省略したサイトのホームページが端末識別情報の送信を促すメッセージを提示し、送信をするか否かを選択するボタンもあわせて提示する。そこで、ユーザが送信をする方のボタンをクリックした時に端末識別情報を送信するようにしてもよい。

【0033】情報端末10は、たとえば携帯電話、インターネットに接続できるパーソナルコンピュータ、ワークステーションといったものである。情報端末10固有の端末識別情報の一例としては、情報端末10が携帯電話ならば電話番号、情報端末10がパーソナルコンピュータなどであれば、MACアドレス、IPアドレスなどがある。すなわち、端末識別情報とは、それから情報端末10を識別できるようなものであればよい。なお、情報端末10は、図示の便宜上、図1には一個しか記載されていないが、実際は複数個あることが一般的である。

【0034】第一通信網12は、情報端末10とユーザ情報アクセス機14とを接続する通信網である。情報端末10が携帯電話ならば、パケット通信網などである。情報端末10がパーソナルコンピュータ等ならば、インターネット等である。

【0035】ユーザ情報アクセス機14は、情報端末10から送信された端末識別情報を受信する。ユーザ情報アクセス機14は、さらに対応記録部16の記録内容に基づき、端末識別情報に対応したポータルサイト20a、bへ情報端末10をアクセスさせる。ユーザ情報アクセス機14はインターネットに接続可能なパーソナルコンピュータなどである。なお、以下では、主にhttpを使用した例を記載するが、もちろん、httpの他にも、ftp(file transfer protocol)などの他のプロトコルを使用することもできる。

【0036】情報端末10が、ポータルサイト20a、bにアクセスすると、ポータルサイト20a、bの記録内容を閲覧できる。このような機能は、ポータルサイト20a、bをhttpサーバとし、情報端末10をhttpクライアントとすることで実現できる。しかも、ポータルサイト20a、bの記録内容を閲覧画面を使用して、サイト22a、bにジャンプできる。このような機能は、ポータルサイト20a、bからサイト22a、bに、いわゆる「リンクをはる」ことで可能である。

【0037】対応記録部16は、端末識別情報とポータ

ルサイト20a、bとの対応を記録する。対応記録部16の記録内容の一例を図2に示す。対応記録部16には、例えば、情報端末10の端末識別情報として電話番号、ポータルサイト20a、bを示すものとしてURL(Universal Resource Locator)が記録されている。例えば、電話番号が00-0000-0000の情報端末10には、http://www.〇〇.co.jpというURLを有するポータルサイト20aが対応する。なお、端末識別情報に対応するポータルサイト20a、bのURL等は、ユーザ(使用者)が、ポータルサイトを利用する前に登録しておく。

【0038】第二通信網18は、ユーザ情報アクセス機14、ポータルサイト20a、b、サイト22a、bを相互に接続する通信網である。第二通信網18は、例えばインターネットである。

【0039】ポータルサイト20a、bは、サイト22a、bにアクセスするためのデータが記録されている。たとえば、サイト22a、bのURLが記録されている。なお、どのようなサイトへアクセスするのが好適かは、各人ごとに異なる。よって、情報端末10の使用者に応じて、ポータルサイト20a、bの記録内容を変化させておく。このためには、使用者に、ポータルサイト20a、bの記録内容を作成されるようにしてもよい。しかし、ポータルサイト20a、bの記録内容を誰が作成するかは問わない。

【0040】例えば、ポータルサイト20aには、サイト22a、bへのアクセスするためのデータ、すなわちサイト22a、bのURLが記録されており、ポータルサイト20bには、サイト22aへのみアクセスするためのデータ、すなわちサイト22aのURLが記録されている。このように、各ポータルサイトの記録内容を異ならせておけば、各ポータルサイトに各情報端末が対応している中で、情報端末ごとにポータルサイトの記録内容が異なっていることになる。しかも、近年、情報端末10のユーザは、通信端末一個につき一人ということが多く(特に、携帯電話)、情報端末10ごとにポータルサイトの記録内容が異なっているならば、ユーザごとにポータルサイトの記録内容が異なっていることになる。すなわち、ポータルサイトの記録内容をユーザごとにカスタマイズできる。なお、ポータルサイトの記録内容をユーザごとにカスタマイズするかわりに、ユーザの所属するグループまたはユーザの共通の属性に応じてカスタマイズしてもよい。例えば、東京に住んでいる情報端末10のユーザには東京に関する情報を掲載したサイトへアクセスするためのデータを記録したポータルサイトを対応させるといったことが考えられる。また、ポータルサイトの記録内容をユーザごとにカスタマイズするかわりに、情報端末10自体または情報端末10の共通の属性に応じてカスタマイズしてもよい。例えば、情報端末10の内、ある種の携帯電話(P206型など)についてはP206型に関する情報を掲載したサイトへアクセスするため

のデータを記録したポータルサイトを対応させるといったことが考えられる。

【0041】よって、ポータルサイト20a、bは、情報端末の使用者に応じた情報が記録された使用者情報記録手段に対応する。なお、ポータルサイト20aのかわりに、ユーザごと、ユーザの所属すること、あるいはユーザの共通の属性ごとに対応した情報(ユーザの電話料金、ユーザの住む地方の情報など)を記録したサイトを設けてもよい。なお、ポータルサイトは図示の便宜上、図1には二個しか記載されていないが、実際は三個以上あることも充分考えられる。また、ポータルサイト20a、bは常設されていても構わないが、ユーザがアクセスしている間だけ一時的に設けておく、すなわち動的に設けるようにしてもよい。例えば、ユーザがアクセスしている間だけ一時的にサイトへアクセスするためのデータを記録したファイルを作成しておき、アクセス終了後にファイルを消去する。ポータルサイト20a、bを動的に設ければ、他人がポータルサイト20a、bの記録内容を覗くといった被害を防ぐことができる。さらに、ポータルサイト20a、bを動的に設ければ、ポータルサイトのURLおよびファイル名をユーザごとに全く共通にしても(ポータルサイトが一個ということになる)、ユーザごとに対応した記録内容とすることもできる。

【0042】サイト22a、bは、ホームページを表示するためのパーソナルコンピュータ等である。サイト22a、bが表示する情報には、映画や音楽に関連した情報、情報端末10の使用者の仕事に関連した情報がある。なお、サイトは図示の便宜上、図1には二個しか記載されていないが、実際は三個以上あることも充分考えられる。

【0043】次に、第一の実施形態の動作を図3のフローチャートを参照しながら説明する。まず、情報端末10は電話番号などを送信する(S10)。情報端末10固有の端末識別情報である電話番号などは、第一通信網12を介して、ユーザ情報アクセス機14に送られる。ユーザ情報アクセス機14は、対応記録部16から電話番号などに対応するポータルサイト20a、bのURLを読み出す(S12)。もし、電話番号が、00-0000-0000であれば、http://www.〇〇.co.jpというURLが読み出される。そして、ユーザ情報アクセス機14は、情報端末10に、対応するポータルサイト20a、bへアクセスさせる(S14)。もし、http://www.〇〇.co.jpというURLが情報端末10に対応するならば、このURLを有するポータルサイト20aに情報端末10をアクセスさせる。情報端末10が、ポータルサイト20aにアクセスすると、ポータルサイト20aの記録内容を閲覧することができる。そして、ポータルサイト20aの記録内容の閲覧画面に表示されているリンクをクリック等することで、ポータルサイト20aにリンクされている、サイト22aなどにジャンプできる(S16)。これによ

り、情報端末10のユーザは、サイト22aの記録内容を閲覧することなどができる。

【0044】第一の実施形態によれば、ユーザ情報アクセス機14が、情報端末10から送信された端末識別情報（電話番号など）を受信して、対応記録部16の記録内容に基づき、端末識別情報に対応したポータルサイト20aへ情報端末10をアクセスさせる。

【0045】よって、情報端末10が有する固有の端末識別情報があれば、使用者（ユーザ）のユーザIDやパスワードといった使用者固有の情報を、ポータルサイト20aへのアクセスに必要としない。したがって、ポータルサイト20aへのアクセスが容易となる。なお、情報端末10一台につき、ユーザー一人ということが多いので、情報端末10ごとにポータルサイトを設定しておいても支障はない。

【0046】しかも、ポータルサイト20aには、情報端末10の使用者の好みに応じたサイト22a、bのURLなどが記録されている。よって、情報端末の使用者は、自らの好みにあったサイト22a、bなどにアクセスできる。

【0047】また、上記の実施形態は、以下のようにして実現できる。CPU、ハードディスク、メディア（フロッピー（登録商標）ディスク、CD-ROMなど）読み取り装置を備えたコンピュータのメディア読み取り装置に、上記の各部分、特にユーザ情報アクセス機14、対応記録部16を実現するプログラムを記録したメディアを読み取らせて、ハードディスクにインストールする。このような方法でも、上記の機能、特にユーザ情報アクセス機14、対応記録部16を実現できる。

【0048】第二の実施形態

第一の実施形態においては、情報端末10の使用者（ユーザ）に応じた情報が記録された使用者情報記録手段に相当するものが、ポータルサイトである。これに対し、第二の実施形態においては、使用者情報記録手段に相当するものが、ユーザ情報記録機24a、bである点およびユーザ情報記録機24a、bにユーザに関する情報を送信するユーザ情報送信機26を有する点で第一の実施形態と相違する。

【0049】図4に、本発明の第二の実施の形態にかかる使用者に応じた情報へのアクセス装置の構成を示す。

【0050】第二の実施の形態にかかる使用者に応じた情報へのアクセス装置は、情報端末10、第一通信網12、ユーザ情報アクセス機14、対応記録部16、第二通信網18、ユーザ情報記録機24a、b、ユーザ情報送信機26を備える。以下、第一の実施形態と同様な部分は同一の番号を付して説明を省略する。

【0051】情報端末10、第一通信網12、ユーザ情報アクセス機14、対応記録部16は第一の実施形態と同様であり説明を省略する。ただし、対応記録部16は、端末識別情報とユーザ情報記録機24a、bとの対

応を記録する。

【0052】第二通信網18は、ユーザ情報アクセス機14、ユーザ情報記録機24a、b、ユーザ情報送信機26を相互に接続する通信網である。第二通信網18は、例えばインターネットである。また、ユーザ情報記録機24a、b、ユーザ情報送信機26は例えば、インターネットに接続可能なパーソナルコンピュータなどである。

【0053】ユーザ情報記録機24a、bには、情報端末10の使用者（ユーザ）の個人情報が記録されている。例えば、情報端末10が携帯電話であれば、ユーザ情報記録機24a、bには携帯電話の使用料が記録されている。ユーザ情報記録機24a、bにより、個々のユーザへの情報提供や、個人向けの情報発信サービス等が可能になる。あるいは、ユーザ情報記録機24a、bには、ユーザの所属するグループまたはユーザの共通の属性に応じた情報が記録されている。例えば、東京に住んでいる情報端末10のユーザに対応するユーザ情報記録機24a、bには、東京に関する情報を記録させるといったことが考えられる。さらに、ユーザ情報記録機24a、bには、情報端末10自体または情報端末10の共通の属性に応じた情報を記録してもよい。例えば、情報端末10の内、ある種の携帯電話（P206型など）に対応するユーザ情報記録機24a、bにはP206型に関する情報を記録させるといったことが考えられる。

【0054】近年、情報端末10のユーザは、通信端末一個につき一人ということが多く（特に、携帯電話）、対応記録部16によって、情報端末10一台ごとにユーザ情報記録機24a、bを一台対応させておけば、ユーザごとに個人情報を記録できる。なお、ユーザ情報記録機24a、bの記録内容をユーザごとにカスタマイズするかわりに、ユーザの所属するグループまたはユーザの共通の属性に応じてカスタマイズしてもよい。

【0055】なお、ユーザ情報記録機24a、bは常設されていても構わないが、ユーザがアクセスしている間だけ一時的に設けておく、すなわち動的に設けるようにしてもよい。例えば、ユーザがアクセスしている間だけ、情報端末10に対応したURLを有するファイルをユーザ情報記録機24a、bに設けておき、ユーザがアクセスを終了した後に、かかるファイルを消去しておけばいい。動的に設ければ、他人がユーザ情報記録機24a、bの記録内容を覗くといった被害を防ぐことができる。なお、ユーザ情報記録機24a、bは図示の便宜上、図4には二個しか記載されていないが、実際は三個以上あることも充分考えられる。さらに、ユーザ情報記録機24a、bを動的に設ければ、ユーザ情報記録機のURLおよびファイル名をユーザごとに全く共通にしても（ユーザ情報記録機が一個ということになる）、ユーザごとに対応した記録内容とすることもできる。

【0056】ユーザ情報送信機26は、ユーザ情報記録



機24a、bにユーザ情報等のユーザ情報記録機24a、bに記録すべき情報を送信する。例えば、ユーザごとの携帯電話の電話料金などを、ユーザがユーザ情報記録機24a、bにアクセスする前(直前でもよい)に送信しておく。なお、ユーザ情報送信機26は図示の便宜上、図4には一個しか記載されていないが、実際は三個以上あることも充分考えられる。

【0057】次に、第二の実施形態の動作を図5のフローチャートを参照しながら説明する。まず、情報端末10は電話番号などを送信する(S20)。情報端末10固有の端末識別情報である電話番号などは、第一通信網12を介して、ユーザ情報アクセス機14に送られる。ユーザ情報アクセス機14は、対応記録部16から電話番号などに対応するユーザ情報記録機24a、bのURLを読み出す(S22)。もし、電話番号が、00-0000-0000であれば、http://www.〇〇.co.jpというURLを読み出される(図2参照)。そして、ユーザ情報アクセス機14は、情報端末10に、対応するユーザ情報記録機24a、bへアクセスさせる(S24)。もし、http://www.〇〇.co.jpというURLが情報端末10に対応するならば、このURLを有するユーザ情報記録機24aに情報端末10をアクセスさせる。情報端末10が、ユーザ情報記録機24aにアクセスすると、ユーザ情報記録機24aの記録内容を閲覧することができる(S26)。例えば、ユーザごとの携帯電話の電話料金などを閲覧できる。

【0058】第二の実施形態によれば、ユーザ情報アクセス機14が、情報端末10から送信された端末識別情報(電話番号など)を受信して、対応記録部16の記録内容に基づき、端末識別情報に対応したユーザ情報記録機24aへ情報端末10をアクセスさせる。

【0059】よって、情報端末10が有する固有の端末識別情報があれば、使用者(ユーザ)のユーザIDやパスワードといった使用者固有の情報を、ユーザ情報記録機24aへのアクセスに必要としない。したがって、ユーザ情報記録機24aへのアクセスが容易となる。なお、情報端末10一台につき、ユーザー一人ということが多いので、情報端末10ごとにユーザ情報記録機を設定しておいても支障はない。

【0060】しかも、ユーザ情報記録機24aには、情報端末10の使用者(ユーザ)の電話料金などの個人情報記録されており、ユーザにとって便利である。

【0061】また、上記の実施形態は、以下のようにして実現できる。CPU、ハードディスク、メディア(フロッピーディスク、CD-ROMなど)読み取り装置を備えたコンピュータのメディア読み取り装置に、上記の各部分、特にユーザ情報アクセス機14、対応記録部16を実現するプログラムを記録したメディアを読み取らせて、ハードディスクにインストールする。このような方法でも、上記の機能、特にユーザ情報アクセス機1

4、対応記録部16を実現できる。

【0062】第三の実施形態

第三の実施形態においては、第一通信網12とユーザ情報記録機30とが直接に接続されている点で第一の実施形態と相違する。

【0063】図6に、本発明の第三の実施の形態にかかる使用者に応じた情報へのアクセス装置の構成を示す。

【0064】第三の実施の形態にかかる使用者に応じた情報へのアクセス装置は、情報端末10、第一通信網12、ユーザ情報記録機30を備える。以下、第一の実施形態と同様な部分は同一の番号を付して説明を省略する。なお、ユーザ情報アクセス機14、対応記録部16、第二通信網18は、第一通信網12とユーザ情報記録機30とが直接に接続されているので、設ける必要がない。また、情報端末10が携帯電話であり、第一通信網12がインターネットである場合は、図示省略したゲートウェイを介して、情報端末10と第一通信網12とが接続される。

【0065】情報端末10、第一通信網12は第一の実施形態と同様であり説明を省略する。

【0066】ユーザ情報記録機30は、ユーザ情報アクセス部32、対応情報記録部33、ユーザホームページ34a、bを有する。ユーザ情報アクセス部32、対応情報記録部33、ユーザホームページ34a、bは、一体である。すなわち、一台のコンピュータ(パーソナルコンピュータ、ワークステーションなど)およびそれに接続された記録媒体(ハードディスクなど)に、ユーザ情報アクセス部32、対応情報記録部33、ユーザホームページ34a、bが実現されている。なお、ユーザ情報記録機30は、複数あることが通常である。なお、図6に示した例では、ユーザ情報アクセス部32、対応情報記録部33、ユーザホームページ34a、bは一体であるが、一体である必要は特にない。それぞれが別々のコンピュータで実現されていてもかまわない。

【0067】ユーザ情報アクセス部32は、アクセスしてきた情報端末10の端末識別情報に基づき、情報端末の使用者に応じたユーザホームページ34a、bあるいは、他のユーザ情報記録機30へ情報端末10をアクセスさせる。対応情報記録部33は、端末識別情報とユーザホームページ34a、bあるいは、他のユーザ情報記録機30との対応を記録する。例えば、端末識別情報は電話番号であり、ユーザホームページ34a、bあるいは、他のユーザ情報記録機30を示すものはURL(例えば、www.XX.co.jp、www.〇〇.co.jp/book、www.〇〇.co.jp/softwareなど)、ファイル名などである。なお、他のユーザ情報記録機30のURLは、ユーザ情報記録機30のURLの下位(www.〇〇.co.jp/book、www.〇〇.co.jp/softwareなど)、であってもよいし、なくてもよい。対応情報記録部33の記録内容の一例を図7に示す。対応情報記録部33には、例えば、情報端末10の

端末識別情報として電話番号、ユーザホームページ34 a、bを示すものとしてファイル名が記録されている。例えば、電話番号が00-0000-0000の情報端末10には、ファイル名がindex\_1.htmというユーザホームページ34 aが対応する。ユーザホームページ34 a、bは、情報端末10の使用者（ユーザ）の個人情報を記録する。あるいは、ユーザホームページ34 a、bには、ユーザの所属するグループまたはユーザの共通の属性に応じた情報が記録されている。例えば、東京に住んでいる情報端末10のユーザに対応するユーザホームページ34 a、bには、東京に関する情報を記録させるといったことが考えられる。さらに、ユーザホームページ34 a、bには、情報端末10自体または情報端末10の共通の属性に応じた情報を記録してもよい。例えば、情報端末10の内、ある種の携帯電話（P206型など）に対応するユーザホームページ34 a、bにはP206型に関する情報を記録させるといったことが考えられる。

【0068】なお、ユーザホームページ34 a、bは常設されていても構わないが、ユーザがアクセスしている間だけ一時的に設けておく、すなわち動的に設けるようにしてもよい。動的に設ければ、他人がユーザホームページ34 a、bの記録内容を覗くといった被害を防ぐことができる。なお、ユーザホームページ34 a、bは図示の便宜上、図6には二個しか記載されていないが、実際は三個以上あることも充分考えられる。

【0069】ここで情報端末10などの想定例を説明する。例えば、情報端末10を携帯電話として企業の営業担当員に携帯させ、ユーザ情報記録機30を企業のhttpサーバとし、ユーザホームページ34 a、bあるいは他のユーザ情報記録機30におけるユーザホームページ34 a、bを携帯電話を携帯する各営業担当者ごとに特化した情報とすることが想定される。この場合、各営業担当者が携帯する携帯電話の電話番号以外の電話番号を有する情報端末10からユーザ情報記録機30へアクセスがあったとしても、ユーザ情報アクセス部32がこのようなアクセスを禁止し、ユーザホームページ34 a、bあるいは他のユーザ情報記録機30へアクセスさせないようにすることが好ましい。企業情報を第三者に見られないようにするためである。なお、このようなアクセスの禁止を行うか否かの決定は、アクセスしてきた携帯電話の電話番号が、対応情報記録部33に記録のない電話番号であるか否かによって決定できる。

【0070】また、ユーザ情報記録機30を広告用のhttpサーバとし、ユーザホームページ34 a、bをアクセスしてきたユーザごとに特化した広告とすることが想定される。この場合、企業のhttpサーバのURLは公開し、あるいは企業のhttpサーバのURLそのものを広告する。たとえば、企業のhttpサーバのURLそのものを検索エンジンに登録する。広告を有効に行うためである。

【0071】次に、第三の実施形態の動作を図8のプロ

ーチャートを参照しながら説明する。まず、情報端末10は電話番号などを送信する（S30）。情報端末10がユーザ情報記録機30にアクセスすると、ユーザ情報アクセス部32が、対応情報記録部33から情報端末10固有の端末識別情報に対応したユーザホームページ34 a、bあるいは、他のユーザ情報記録機30を読み出す（S32）。もし、電話番号が、00-0000-0000であれば、ファイル名index\_1.htmが読み出される（図7参照）。そして、ユーザ情報アクセス部32は、情報端末10に、情報端末10固有の端末識別情報に対応したユーザホームページ34 a、bあるいは、他のユーザ情報記録機30にアクセスさせる（S34）。例えば、情報端末10固有の電話番号が、ユーザホームページ34 aに対応しているならば、情報端末10をユーザホームページ34 aにアクセスさせる。そして、情報端末10はユーザ固有の情報を閲覧する（S36）。

【0072】第三の実施形態によれば、ユーザ情報記録機30が、情報端末10から送信された端末識別情報（電話番号など）を受信して、対応情報記録部33の記録内容に基づき、端末識別情報に対応したユーザホームページ34 a、bなどへ情報端末10をアクセスさせる。

【0073】よって、情報端末10が有する固有の端末識別情報があれば、使用者（ユーザ）のユーザIDやパスワードといった使用者固有の情報を、ユーザホームページ34 a、bへのアクセスに必要としない。したがって、ユーザホームページ34 a、bへのアクセスが容易となる。なお、情報端末10一台につき、ユーザー人ということが多いので、情報端末10ごとにユーザホームページ34 a、bを設定しておいても支障はない。

【0074】しかも、ユーザホームページ34 a、bには、情報端末10の使用者（ユーザ）の電話料金などの個人情報が記録されており、ユーザにとって便利である。

【0075】また、上記の実施形態は、以下のようにして実現できる。CPU、ハードディスク、メディア（フロッピーディスク、CD-ROMなど）読み取り装置を備えたコンピュータのメディア読み取り装置に、上記の各部分、ユーザ情報記録機30を実現するプログラムを記録したメディアを読み取らせて、ハードディスクにインストールする。このような方法でも、上記の機能、特にユーザ情報記録機30を実現できる。

【0076】

【発明の効果】本発明によれば、使用者情報アクセス手段が、情報端末から送信された端末識別情報を受信して、対応記録手段の記録内容に基づき、端末識別情報に対応した使用者情報記録手段へ情報端末をアクセスさせる。

【0077】よって、情報端末が有する固有の端末識別情報があれば、使用者のユーザIDやパスワードとい

15

た使用者固有の情報を、使用者情報記録手段へのアクセスに必要としない。したがって、使用者情報記録手段へのアクセスが容易となる。

【0078】しかも、使用者情報記録手段には、情報端末の使用者に応じた情報が記録されている。よって、情報端末の使用者は、自らの好みにあったサイトなどにアクセスできる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第一の実施の形態にかかる使用者に応じた情報へのアクセス装置の構成を示すブロック図である。

【図2】対応記録部16の記録内容の一例を示す図である。

【図3】第一の実施形態の動作を示すフローチャートである。

【図4】本発明の第二の実施の形態にかかる使用者に応じた情報へのアクセス装置の構成を示すブロック図である。

【図5】第二の実施形態の動作を示すフローチャートである。

【図6】本発明の第三の実施の形態にかかる使用者に応\*

16

\*じた情報へのアクセス装置の構成を示すブロック図である。

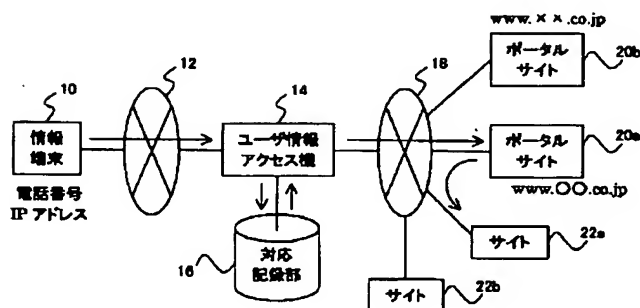
【図7】対応情報記録部33の記録内容の一例を示す図である。

【図8】第三の実施形態の動作を示すフローチャートである。

【符号の説明】

- 10 情報端末
- 12 第一通信網
- 14 ユーザ情報アクセス機
- 16 対応記録部
- 18 第二通信網
- 20 a、b ポータルサイト
- 22 a、b サイト
- 24 a、b ユーザ情報記録機
- 26 ユーザ情報送信機
- 30 ユーザ情報記録機
- 32 ユーザ情報アクセス部
- 33 対応情報記録部
- 34 a、b ユーザホームページ

【図1】



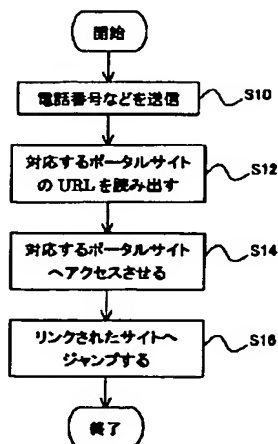
【図2】

端末識別情報	ポータルサイト
00-0000-0000	http://www.〇〇.co.jp
11-1111-1111	http://www.××.co.jp

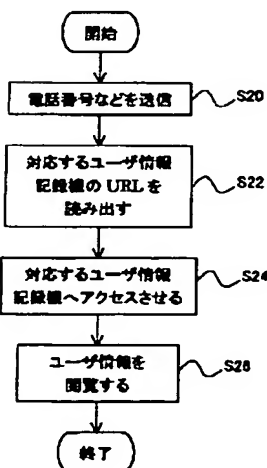
【図7】

端末識別情報	ユーザホームページ
00-0000-0000	index_1.htm
⋮	⋮

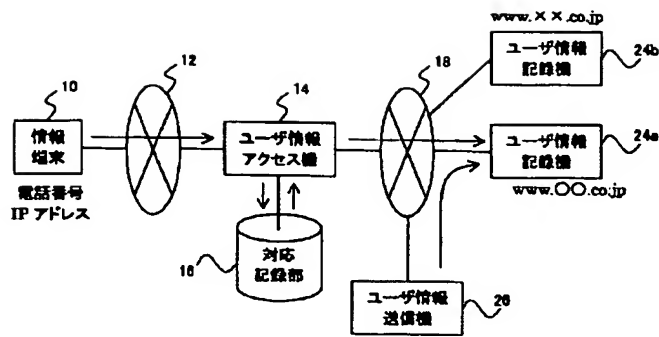
【図3】



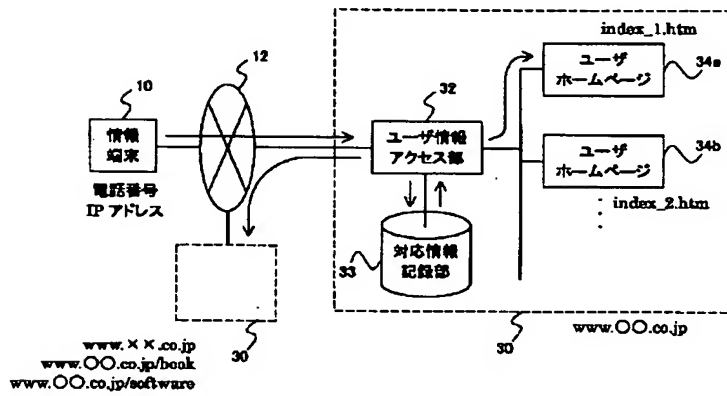
【図5】



【図4】



【図6】



【図8】

